

令和6年度事業報告

公益財団法人 日本相撲連盟

事業総括

公益財団法人日本相撲連盟

令和6年度事業の主たる成果と課題

1. 競技会の企画運営

令和6年度は、(公財)日本相撲連盟が主催する第73回全日本相撲選手権大会、第34回全国都道府県中学生相撲選手権大会、第37回全日本小学生相撲優勝大会などの45の主催・共催・後援の競技会が、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本相撲協会、(独法)日本スポーツ振興センター、日本相撲振興会その他多くの関係団体のご支援と、開催地のご理解、役員の方々、関係各位のご尽力を頂き、無事終了することができた。

第78回国民スポーツ大会相撲競技会は、佐賀県・玄海町で開催され、玄海町長を筆頭に町民の方々の献身的な協力を得て、佐賀県県相撲連盟、九州相撲協議会及び関係各位のご尽力により成功裏に終えることができた。

9月7日～8日にポーランド共和国・クロトシン市において、第25回世界相撲選手権大会、第16回世界女子相撲選手権大会及び第18回世界ジュニア相撲選手権大会、第10回世界女子ジュニア相撲選手権大会が開催された。特にジュニアは、男女とも団体・個人とも金メダルを獲得した。

2. 会員登録の拡大と段位取得・昇段の奨励

会員登録制度は、アマチュア相撲を関係者全員で支えていく意識の表れであり、アマチュアとしての資格を確保するものである。競技会への出場、役員への就任、段位の取得・昇段、公認審判員資格の取得等、連盟に関する事業に参加するには会員登録が必要となっている。

本年は昨年を上回り5,146人が会員登録を行ったが、実際に活動をしている者との整合が取れていないのが実態である。関係者全員の理解を深め、実態に合わせた登録者数を確保するとともに、「する」だけでなく、「見る」「支える」人々に会員登録を拡大していくことが課題である。

またこのような環境を作っていくため、7月27日、28日に初心者向け審判講習会を開催し、加盟団体公認審判員養成の門戸を開いた。

また、段位取得・昇段については段位審査基準を満たす経歴の持ち主に対し、各都道府県連盟を通じて段位取得・昇段の奨励をより進めていきたい。

3. 女子相撲の普及促進

本連盟では、相撲を体の大小や性別にかかわらず誰もが楽しめるスポーツとして普及していく方針にのっとり、女子相撲の普及振興を積極的に推し進めてきているが、「男子の競技」としての先入観が根強く残っている面もあり、普及が思うように進まないのが現状である。

しかしながら、その中で女子相撲の普及を強力をすすめるため、新たに「第1回全国高等学校女子相撲選手権大会」及び「2024相撲女子日本一決定戦」を8月10日(土)東京都・アリーナ立川立

飛で開催した。

今後も女子相撲が国民スポーツ大会の競技として取り入れられ、男女のスポーツとして将来オリンピック競技に採用されることを大きな目標として取り組んでいきたい。

4. 小中学校での体育授業・部活動および地域のクラブ・道場等での相撲の拡充

令和6年度は、中学校体育授業での相撲採用校の増大と指導者の育成をめざし、第11回全国相撲指導者研修会を11月15日（金）～17日（日）に日本武道館研修センターにおいて参加者35名のもとで開催された。

今後は、学校体育で相撲の普及を図るために、各加盟団体関係者の協力を得て、都道府県の教育委員会等への働きかけを進めることが必要と考えられる。令和6年度も実施したスポーツ庁委託「令和の日本型学校体育構築支援事業」を通じて、中学校相撲授業における外部指導者の活用と相撲授業のさらなる拡充を推し進めることも重要な課題である。

また、部活動の地域移行がますます進むことを考慮し、外部指導講習会で部活動を含めた講習を行った。

5. ガバナンスコードへの対応

10月下旬に「公益財団法人日本相撲連盟スポーツ団体ガバナンスコード遵守状況の自己説明」をホームページに掲載し、本連盟のガバナンスコードへの対応を公表した。

公表した内容は、課題も多く、今後に向け、引き続き万全な対応を図っていくことが肝要である。

6. 財政基盤の確立と事務局体制の強化

第78回国民スポーツ大会（佐賀県）開催中に加盟団体全国協議会（都道府県代表者会議）を開催し、本連盟と各加盟団体との緊密な連絡調整および円滑な事務手続の必要性を強調して、理解の増進、情報の共有化を図った。

また、基本財源である段位取得・昇段に関する調査を実施し、推進策を策定した。

以 上

令和 6 年度事業報告 (案)

1. 会務報告

評議員会	2回	理事会	3回
常務理事会	21回		
段位審査委員会	3回		
倫理・資格・賞罰委員会	3回		

第 1 回常務理事会	日相連会館会議室	4 月 9 日
第 2 回常務理事会	〃	4 月 23 日
第 3 回常務理事会	〃	5 月 7 日
第 4 回常務理事会	〃	5 月 21 日
第 1 回倫理・資格・賞罰委員会	書面	5 月 31 日
第 5 回常務理事会	日相連会館会議室	6 月 4 日
第 6 回常務理事会	〃	6 月 11 日
第 1 回理事会	〃	6 月 15 日
第 1 定時評議員会	〃	6 月 15 日
第 1 回段位審査委員会	〃	6 月 15 日
第 7 回常務理事会	〃	6 月 25 日
第 8 回常務理事会	〃	7 月 16 日
第 9 回常務理事会	〃	9 月 3 日
第 10 回常務理事会	〃	9 月 17 日
第 11 回常務理事会	〃	10 月 1 日
第 1 回法令統治委員会	メール	10 月 14 日
第 12 回常務理事会	〃	10 月 15 日
第 13 回常務理事会	日相連会館会議室	10 月 29 日
第 14 回常務理事会	〃	11 月 12 日
第 15 回常務理事会	〃	11 月 26 日
第 2 回倫理・資格・賞罰委員会	〃	11 月 28 日
第 2 回理事会	〃	11 月 30 日
第 2 回段位審査委員会	〃	11 月 30 日
第 3 回倫理・資格・賞罰委員会	〃	11 月 30 日
第 16 回常務理事会	〃	12 月 10 日
第 17 回常務理事会	〃	1 月 14 日
第 18 回常務理事会	〃	1 月 28 日
第 19 回常務理事会	〃	2 月 18 日
第 3 回倫理・資格・賞罰委員会	〃	2 月 28 日
第 20 回常務理事会	〃	3 月 4 日
第 3 回理事会	〃	3 月 8 日
第 2 回評議員会	〃	3 月 8 日
第 3 回段位審査委員会	〃	3 月 8 日
第 21 回常務理事会	〃	3 月 18 日
第 2 回法令統治委員会	メール	3 月 31 日

2. 相撲の普及・指導に関する事業

(1) 第38回全国小・中・高等学校、大学及び社会体育相撲指導者研修会

共 催 (公財)日本相撲協会

期 日 令和6年8月20日(火)～21日(水)

会 場 国技館・大広間

出席者数 23名(講師を含む)

内 容 (1)中学校相撲授業支援者育成にかかる講習・実習

(2)中学校運動部活動の地域移行に対する指導員育成にかかる講習・実習

(3)今後の相撲指導の充実に向けた課題と対策の検討(参会者による協議・検討を含む)

(2) 第11回相撲指導者研修会

共 催 (公財)日本武道館

期 日 令和6年11月15日(金)～17日(日)

会 場 日本武道館研修センター

参加者 35名出席

内 容

指導法概論、実践研究、指導計画、安全管理・指導、実践事例報告等

講 師 南会長、安井副会長、桑森座長、浦嶋普及指導委員会委員長、研究員(満留、安藤、堀内、上村、長浦、石崎、村田)

(3) 令和6年度学校相撲実技指導者講習会(中学校体育教員の講習会)

スポーツ庁委託事業

期 日 令和7年2月15日(土)～16日(日)

会 場 日本相撲連盟会館会議室

参加者 14名(学生8名を含む。)

内 容 スポーツ庁委託事業として、「学校体育における武道指導のあり方」の解説から、講義として「体育授業における外部導者の心得・役割」「地域クラブ・部活動における指導者の心得・役割」「相撲の安全監理」「相撲授業の事例発表」など

講 師 綱島調査官(スポーツ庁)、南会長、研究員(安藤、大庭、廣瀬、満留、長浦、堀内、上村、村田)

(4) 公認相撲コーチⅠ養成講座(専門講座)

主 催 (公財)日本スポーツ協会

期 日 令和7年2月1日(土)～28日(日)

会 場 日本相撲連盟会館会議室(ZOOM会議併用)

参加者 16名

内 容 ①「相撲の特性Ⅰ」

②「日本相撲連盟の指導理念とその組織」

- ③「ドーピング防止Ⅰ」
- ④「相撲の安全管理Ⅰ」
- ⑤「対象に応じた指導プログラムⅠ」
- ⑥「現場における救急処置法Ⅰ」

講 師 櫛原常務理事、浦嶋参事、眞部医科学委員、村田光央競技委員、村田安啓競技委員、日本光電社員

(5) 令和の日本型学校体育構築支援事業（スポーツ庁委託）

①相撲授業支援推進委員会 6 回開催（6/25、8/20～21、12/7、1/12、2/15、3/9）

②外部指導者講習会 3 回開催

1/12 山口県周南市
1/12 静岡県藤枝市
1/26 岩手県盛岡市
1/26 兵庫県姫路市
2/2 佐賀県唐津市

③データベース作成

外部指導者研修会修了者を登録者名簿に追加掲載

④ I T C 教育対策として AppleTV を購入納品

⑤「一般室内土俵」「マイティパンツ」を、山梨県、熊本県、長野県に貸し出した。

⑥新型簡易まわしを購入納品

⑦リーフレットを作成し、各県のコーディネーターに発送した。

また、「ガイドブック」「実践事例集」を一部改訂うえ、増刷した。

(6) その他

①地方青少年武道錬成大会（主催 日本武道館他）

6 月 2 2 日（土）～2 3 日（日）	鳥取県鳥取市	講師	平野照二	成松由紀夫
1 1 月 9 日（土）～1 0 日（日）	福井県福井市	講師	村上英昭	山中未久
1 1 月 1 6 日（土）～1 7 日（日）	青森県弘前市	講師	舛田守	對馬英人

②地域社会相撲指導者研修会

今年度は開催せず。

③少年相撲教室

（主催 各教育委員会 後援 日本相撲協会・日本相撲連盟）

6 月 2 日	大分県佐伯市	君ヶ濱親方		
6 月 1 1 日	埼玉県久喜市	大山親方		
6 月 1 5 日	静岡県御殿場市	桐山親方	講師	高橋 久
8 月 2 5 日	福岡県宇美町	井筒親方	講師	一ノ瀬 人
1 0 月 1 3 日	石川県穴水町	清見潟親方	講師	森田 俊勝
1 0 月 1 8 日	宮城県蔵王町	間垣親方	講師	曾根原

④中学校武道授業(相撲)指導法研究事業(公益財団法人日本武道館)

日 時 令和7年1月18日(土)～19日(日)

会 場 日本武道館大会議室

出席者 日本相撲連盟から推薦された指導法研究者9名と事務局1名、日本武道館2名

内 容 第11回相撲指導者研修会報告書の校正等

令和7度中学校武道授業指導法研究事業の取組み等

⑤令和6年度ベトナム社会主義共和国派遣日本武道代表团事業

日 時 令和6年11月6日(水)～12日(火)

派遣先 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

安井和男副会長

出席者 日本大学相撲部2名、日本体育大学相撲部2名

拓殖大学相撲部1名、東京農業大学相撲部1名

内容 (1)表敬訪問

(2)武道文化セミナー

(3)武道交流演武会

(4)武道関係団体との交流稽古

(5)武道演武大会(グエン・ブースポーツセンター)

⑥相撲体操講習会(特別国体イベント事業)

国民スポーツ大会相撲競技イベント事業の相撲体操講習会を10月4日(金)に玄海みらい学園で実施。

小学生5・6年生79名参加、講師は、桑森真介氏(中学校武道授業(相撲)指導法研究事業座長)

3. 競技力向上に関する事業

(1) 令和6年度全日本ジュニア強化合宿

3月28日(金)～30日(日)に、2025年9月にタイ・バンコク市で開催される世界ジュニア相撲選手権大会に向け、候補選手9名の参加のもと、日本大学相撲場で5年ぶりに実施した。

4. 競技会の開催・審判員の養成に関する事業

(1) 相撲競技会の開催

豊後水道地震を被災した大学宇和島大会を除き、全国大会、地方大会、世界大会合わせて45の大会が成功裡に終了した。その他新設された第1回全国高等学校女子相撲選手権大会、2024相撲女王決定戦を8月10日(土)東京都・アリーナ立川立飛で開催した。

(2) 地域振興事業

JOCジュニアオリンピックカップ・第36回小学生相撲優勝大会を開催した(12月3日)。それに伴い各ブロック予選会を実施した。

ブロック名	期 日	会 場
北海道	9月22日(日)	北広島市中央公民館相撲場
東 北	8月18日(日)	山形県米沢市営相撲場
関 東	8月25日(日)	山梨県小瀬スポーツ公園相撲場
東 海	8月25日(日)	静岡県武道館相撲場
関 西	8月25日(日)	和歌山県営相撲場
中 国	8月25日(日)	島根県出雲市斐川相撲場
四 国	8月25日(日)	愛媛県立総合運動公園相撲場
九 州	9月 8日(日)	鹿児島県吹上浜公園相撲場
北信越	9月29日(日)	石川県立武道館屋内相撲場

(3) 公認審判員の認証

①公認審判員の認証者数

認証月	申請数	合格者
4月	4	4
5月	0	0
6月	0	0
7月	8	8
8月	0	0
9月	4	4
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
1月	3	3
2月	0	0
3月	0	0
合計	19	19

②ブロック別認証者累計

ブロック名	登録数
北海道	0
東北	3
関東	3
北信越	0
東海	0
関西	1
中国	3
四国	0
九州	9
日学連	0
日実業	0
高体連	0
合計	19

(4) 審判講習会の開催

主 催	場 所	講 師	開催日
1 わんぱく相撲	国技館・相撲教習所	村田(安)競技委員	4月 6日
2 北海道相撲連盟	ホテルライフフォート札幌	小師競技委員	4月12日
3 福井県相撲連盟	福井市美山公民館	乾・梨木競技委員	4月13日

4	高知県相撲連盟	高知工業高校	西郷競技委員	4月13日
5	兵庫県相撲連盟	姫路市網干南公園ふれあいの館	池田・真利競技委員	4月14日
6	鹿児島県相撲連盟	かごしま健康の杜	倉園評議員	4月20日
7	岐阜県相撲連盟	ぎふメモリアルセンター相撲場	松橋競技委員	4月29日
8	長崎県相撲連盟	諫早農業高校	秀島・松尾競技委員	6月2日
9	宮崎県相撲連盟	ひなた武道館	倉園評議員	6月2日
10	島根県相撲連盟	島根県立隠岐水産高校	浦嶋参事・村上競技委員	6月8日
11	青森県相撲連盟	十和田商工会議所	櫻田競技委員	6月16日
12	西日本実業団相撲連盟	堺市大浜公園相撲場	勝田常務理事	6月29日
13	東日本実業団相撲連盟	埼玉県立武道館	下谷内参事	7月6日
14	滋賀県相撲連盟	長浜まちづくりセンター	齋藤常務理事	7月7日
15	佐賀県相撲連盟	神崎市相撲場	村上競技委員	7月14日
16	愛知県相撲連盟	愛西市立永和中学校	竹内参事	7月30日
17	中国相撲協議会	出雲市斐川相撲場	石浦競技委員	8月24日
18	関東相撲協議会	小瀬スポーツ公園相撲場	安井副会長	8月25日
19	日本学生相撲連盟	両国国技館	舩田常務理事	11月1日
20	山形県相撲連盟	新庄市民プラザ	佐藤競技委員	11月10日
21	新潟県相撲連盟	謙信公武道館	古畑競技委員	3月2日
22	熊本県相撲連盟	文徳高校相撲場	高濱競技委員	3月29日
23	石川県相撲連盟	石川地場産業センター本館	浦嶋参事	3月30日
審判講習会合計		23カ所	27名	

5. 国際競技会への派遣に関する事業

10月7日・10月8日（ポーランド共和国・クロトシン市）

○2024世界相撲選手権大会

・世界相撲選手権大会

男子個人

軽量級 和宇慶 一騎（沖縄県警）
 中量級 龍山 和彦（瀬戸内町役場）
 軽重量級 三輪 隼斗（ソディック）
 重量級 竹内 宏晟（志摩市役所）
 無差別級 池田 俊（ソディック）

女子個人

軽量級 山下 寧々（焼津中央高校）
 中量級 長谷川理央（慶應義塾大学）
 軽重量級 石井 さくら（立教大学）
 重量級 大蔵 紫音（日本大学）
 無差別級 久野 愛莉（立飛プロパティマネジメント）

男子団体

先鋒 竹内 宏晟（志摩市役所）
 中堅 池田 俊（ソディック）
 大将 三輪 隼斗（ソディック）
 選手 和宇慶 一騎（沖縄県）

女子団体

先鋒 大蔵 紫音（日本大学）
 中堅 久野 愛莉（立飛プロパティマネジメント）
 大将 石井 さくら（立教大学）
 選手 長谷川理央（慶応義塾大学）

・世界ジュニア相撲選手権

男子個人

軽量級 田島 徳文（岐阜農林高校）
 中量級 三橋条ノ真（鳥取城北高校）
 重量級 麻田 遥人（箕島高校）
 無差別級 西出 大毅（和歌山商業高校）

女子個人

軽量級 服部亜豆紀（北海道）
 中量級 矢口愛利菜（東九州龍谷高校）
 重量級 阿部 なな（新潟県）
 無差別級 石井さくら（足立新田高校）

男子団体

先鋒 西出 大毅（和歌山商業高校）
 中堅 麻田 遥人（箕島高校）
 大将 三橋条ノ真（鳥取城北高校）
 選手 田島 徳文（岐阜農林高校）

女子団体

先鋒 阿部なな（金沢学院附属高校）
 中堅 後藤なぎさ（鳥取城北高校）
 大将 岸本はな（飛龍高校）
 選手 山下 寧々（焼津中央高校）

6. 会員登録に関する事業

令和6年度会員登録数

小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	役員等	合計
1,399	658	884	551	289	1,365	5,146

<参考>令和5年度会員登録数

小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	役員等	合計
1,296	572	886	537	282	1,420	4,946

7. 相撲段位の認定に関する事業

(1) 段位の認定に関する事業

申請日 段 位	R6. 6. 15		R6. 11. 30		R6. 3. 8		年 間 合格者	登録者 総 数
	申請数	合格数	申請数	合格数	申請数	合格数		
初段	93	93	77	77	35	35	205	37,122
2 段	47	47	45	45	33	33	125	20,334
3 段	48	48	39	39	18	18	105	18,261
4 段	9	9	29	29	5	5	43	7,423
5 段	7	7	6	6	4	4	17	2,741
6 段	2	2	0	0	1	1	3	1,632
7 段	3	3	0	0	0	0	3	805
8 段	0	0	0	0	1	1	0	188
9 段	0	0	0	0	0	0	0	32
10 段	0	0	0	0	0	0	0	3
合 計	209	209	196	196	96	96	501	88,541

(2) 高段者会入会

	北 海 道	東 北	関 東	北 信 越	東 海	関 西	中 国	四 国	九 州	日 学 連	日 実 業	高 体 連	合 計
人 数	80	253	252	262	104	352	94	112	340	86	25	17	1,977
増 加	0	1	0	5	1	5	0	0	2	3	0	0	17

(3) 名誉段位贈呈

段 位	氏 名	所 属	認証日
6	脇山伸太郎	佐賀県玄海町長	10月7日

(4) 追授段位贈呈

段 位	氏 名	所 属	認証日
6	築比地理絵	元日本相撲連盟理事	12月1日

8. 広報に関する事業

(1) 機関誌「ちから」249号を発行した。

主要大会の記録に加え、少年相撲記事を多く掲載した。

(2) 「アンチ・ドーピング関連情報」コーナーをホームページ内に設け、啓発活動に努めている。

(3) 「ちから」に医科学委員会の協力により「土俵の健康」を掲載している。

9. 倫理・資格・賞罰に関する事業

(1) 第1回倫理・資格・賞罰委員会（5月31日 書面決議）

①令和6年度少年少女武道優良団体

・大川道場(広島県)

・辺野古相撲クラブ(沖縄県)

8月11日、全国都道府県中学生相撲選手権大会(両国国技館)において表彰された。

②アマチュア復帰の承認

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
浅田大	37歳	宮城県	時津風	西幕下6	平成30年9月
大元 貴志	31歳	滋賀県	雷	幕下13	令和6年1月

(2) 第2回倫理・資格・賞罰委員会（11月30日）

①令和6年度日本武道協議会表彰候補の推薦について

・武道功労者表彰候補 下村 勝彦氏(静岡県相撲連盟会長)

・武道優良団体表彰候補 和歌山商業高校(和歌山県)

本連盟の推薦通りに承認され、令和6年1月8日(祝)の日本武道館・鏡開き式・武道始めにおいて表彰が行われた。

②アマチュア復帰の承認

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
神山龍一	23歳	埼玉県	春日野	幕下3枚目	令和6年3月

③令和6年度日本相撲連盟相撲功労賞受賞者の推薦について

櫛原利明 氏 (日本相撲常務理事・法令統治委員長)

木崎智久 氏 (日本相撲連盟常務理事・全国高体連相撲専門部部長)

故 築比地 理絵氏 (日本相撲連盟元理事)

12月1日(日)、全日本相撲選手権大会(両国国技館)の会場で表彰された。

(3) 第3回倫理・資格・賞罰委員会（2月28日）

①国スポ代表選手の公正な選考会実施について

②日本相撲連盟令和6年度優秀団体・個人受賞者

最優秀団体賞 日本体育大学相撲部

優秀団体賞 社会人 (株)ソディック

大学 拓殖大学相撲部

高等学校 和歌山商業高等学校相撲部

中学校 金沢学院大学附属中学校相撲部
 女子相撲 石川県
 最優秀個人賞 池田 俊 (ソディック)
 優秀個人賞 社会人 古川 晴貴(日本通運)
 大学 トワードルジ・ブフチョローン(日本体育大学)
 高等学校 西出 大毅(和歌山商業高等学校)
 中学校 佐藤 珀呂汎(宇土鶴城中学校)
 中学校女子 超軽量級 小島 怜紗(箕面市立第二中学校)
 中学校女子 軽量級 中口 藍紗(金沢学院大学附属中学校)
 中学校女子 中量級 乾 夢渚(大阪府)
 中学校女子 重量級 今井 歩夢(柏相撲少年団)
 女子相撲 超軽量級 河本 優心(鳥取城北高校)
 女子相撲 軽量級 川本 莉乃(楊志館高等学校)
 女子相撲 中量級 田村 仁愛(神戸親和大学)
 女子相撲 軽重量級 雪本 慈(鳥取城北高校)
 女子相撲 重量級 イワン・ベレゾフスカ(九州情報大学)
 女子相撲 無差別級 イワン・ベレゾフスカ(九州情報大学)

3月8日開催の令和6年度第2回評議員会の席上で表彰された。

③アマチュア復帰の承認

(氏 名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
藤田 宏作	35歳	埼玉県	宮城野	西幕下3	令和6年5月
濱町明太郎	32歳	高知県	九重	十両8	令和6年5月

④アマチュア復帰申請料改定について

現行申請料 ¥5,000→¥10,000(税別)

⑤アマチュア復帰申請方法について

(公財)日本相撲協会発行の引退証明書を、必要提出書類から除外

10. 医科学に関する事業

(1) ドーピング検査の実施

月 日	大 会 名	検体数	会 場
12月1日	全日本相撲選手権大会	8	両国国技館(東京)

(2) アンチ・ドーピング啓発講習会の開催

10月13日(土)の国民スポーツ大会(佐賀県)開催中に各都道府県の役員、選手を対象として、アンチ・ドーピング啓発を含めた「スポーツインテグリティ講習会」を開催したほか、令和6年度アンチ・ドーピング計画に従って、アンチ・ドーピング活動を行った。

1 1. コンプライアンス・ガバナンスに関する事業

令和6年度第1回法令統治委員会を令和6年10月14日に、第2回委員会を令和7年3月31日に、いずれもメールにて開催した。

第2回理事会開催時に役員に対し、法令統治委員長がコンプライアンス・ガバナンスについて、注意、説明を行った。

1 2. 役員の辞任

安藤高夫氏が、2024年11月13日厚生労働大臣政務官に就任したため、副会長を辞任。

以上

